13 事業承継

北海道美瑛町　新實　秀隆

事業承継

～ 受け継いだ工場で美瑛に新しい豆腐屋を ～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
京都府亀岡市
【転出元】
京都府亀岡市
【前　職】
会社員、農作業スタッフ
【活動時期】
R６.12～R7.10

協力隊に応募したきっかけ

約３年間、北海道内の農業法人で農作業スタッフとして勤務していました。農業に携わる中で、地域の食や大豆の関心が高まり、地域の豆腐屋さんに通うようになりました。通ううちに店主の方と親しくなり、「豆腐屋さんになってみないか」と声をかけていただいことから豆腐づくりを学ぶきっかけとなりました。その後、美瑛の農家さんと交流を重ねる中で、美瑛産大豆の魅力を豆腐として届けたいと思い、美瑛町の地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

商工業承継支援事業のもと、空き店舗を活用し、豆腐の試作や販売体制の構築を進めています。さらに、美瑛産大豆を使用した豆腐づくりを中心に、関連メニュー開発や地域内での流通体制づくりに取り組みながら、開業に向けた準備を進めます。

活動内容

●レイアウト設計

図面を引きながら作業の導線を検討し、お客様が楽しめる店づくりを進めています。製造ラインが見える配置とし、出来立ての豆腐を味わえる席を設けるなど、販売までの来店導線を考慮した店舗設計を行っています。



●技術の継承と製造環境の整備

現役の豆腐屋さんや元豆腐屋さんを訪問し、製造工程について学んでいます。その中で、豆腐製造機器を譲り受け、店舗に搬入しました。開業に向けて、必要な機器や備品等を集め、製造環境を整えていきます。



●試作･メニュー開発

豆腐の試作に加えて、店舗で提供するメニューの試作にも取り組み、提供方法や味の調整を進めています。地域の食材を組み合わせたメニューや豆腐や豆乳を使ったデザートやドリンクの試作を重ねていきます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人） biei-tofuten@outlook.jp
（電話番号（個人 ）090-4761-1443

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/bieitofuten/

福島県会津美里町　大友　悟

事業承継

～　東北最古の陶磁器産地 “会津本郷焼”の技術継承　～

基本情報



【年　齢】
32歳
【出身地】
千葉県八街市
【転出元】
大阪府寝屋川市
【前　職】
化学メーカー研究職
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

陶芸家になりたいという思いが強くなり、協力隊への応募を決めました。会津美里町には、400年以上の歴史を持つ“会津本郷焼”があります。陶器と磁器の両方の原料が採れる、全国的にも珍しい産地で、多彩な作風の作家さんたちが活躍しています。そんな環境で陶芸を基礎から学び、自身の表現を深めたいと思ったことがきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

陶芸作家としての独立を目指しています。
また、会津本郷焼の認知度向上や新たに作る協力隊工房にも関わっていきたいです。

活動内容

●陶芸の修業

会津本郷焼の窯元の1つである流紋焼で陶芸の修業を行っています。土作りからロクロや鋳込み、焼成や作品作りに対する姿勢など、陶芸に関するあらゆることを学んでいます。



●ふるさと納税のリブランディング

会津本郷焼のPRを目的に、ふるさと納税のリブランディングを行っています。各窯元さんとお話しながら商品の選定や写真、文章などを改良し、現代のニーズに合った形で掲載しています。



●協力隊工房の作成

現役協力隊の学びの場、卒隊後の作品作りの場、地域の交流の場を目的に、協力隊工房作りに取り組んでいます。また地域内外の飲食店や茶道家さんと一緒に試行錯誤を重ねながらの作品作りも進めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kumiai@hongoyaki.or.jp
（電話番号（職場））0242-56-3007

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：otomosatoru_30

OTOMOSATORU_30

岡山県美作市　鶴谷　晃徳

事業承継

～和紙の原料「みつまた」。集落唯一の農家の担い手に ～

基本情報



【年　齢】
３５歳
【出身地】
京都府相楽郡精華町
【転出元】
京都府相楽郡精華町
【前　職】
地方公務員、
ソフトウェア開発会社
【活動時期】
R６.４～

協力隊に応募したきっかけ

コロナ期間に、自分自身の生活について現状のままで良いのかと考えるようになり、その一環として地方移住を検討していました。移住先の候補地や物件、その地での仕事を探していた際、継業バンクに掲載されていた美作市右手地区におけるみつまたの事業承継を見つけ、何度か現地に通っていました。事業承継をするにあたり、協力隊として着任できないか相談したところ、ミッション型で枠組みを用意していただき、応募するに至りました。

今後の抱負・任期後の目標

三椏の仕事はなかなか機械化することが難しい工程が多く、根気のいる作業が多いです。私が今いる右手地区では１名だけがこの仕事をなんとか続けておられていた状態で、収穫できる三椏の量は非常に少ないです。
まずは収穫量を増やすために山や畑を整備してほ場を拡大していくことを目指しています。現状は厳しいですが、三椏の事業だけで生計を立てられればと思っています。

活動内容

●三椏の収穫

鎌を使って１本１本刈り取って収穫します。
山林の傾斜地での作業が多く、刃物を使いつつ、しっかり力も入れる必要がある繊細さと大胆さが求められます。
収穫した幹は釜で蒸すため束ねます。



●加工・出荷作業

収穫して束ねた三椏を釜で蒸します。
蒸した三椏は靭皮を引っ張って剥き、乾燥させます。
剥いた靭皮は表皮がある状態で乾燥させたものが「黒皮」、しじりという表皮と甘皮を取除く処理をしたものが「白皮」と呼ばれます。
乾燥させた皮を規定の大きさにして出荷します。



●ゲストハウス運営のサポート、農泊事業の推進

地域にあるゲストハウス「久米屋」の運営サポートをしています。地域住民の有志で役割分担して運営しているゲストハウスで、協力隊OBの丸山氏が手がけた蔵を改装したサウナが全国的に有名です。
また、国交付金事業に採択され、地域資源を活かした新たな農泊事業の推進にも取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nakautemitsumata@gmail.com
（電話番号）090-2054-5150

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）https://www.instagram.com/tsurutani_nakaute

TSURUTANI_NAKAUTE

福岡県八女市　モリッツ・サンドロ

事業承継

～　八女の魅力を世界に発信！石工マイスター　～

基本情報



【年　齢】
４６歳
【出身地】
ドイツ連邦共和国
【転出元】
福岡県久留米市
【前　職】
ドイツ石工マイスター
八女石灯籠職人
【活動時期】
R６.２～R９.１

協力隊に応募したきっかけ

八女石灯籠に出会い、その魅力に心を奪われたのが20年前のこと。その後、石工マイスターとしてドイツで八女石灯籠の魅力を広めてきました。
日本への移住を機に八女市で地域おこし協力隊として活動し、八女石灯籠の新たな可能性を発信したいと思いました。

今後の抱負・任期後の目標

ドイツ人で八女石灯籠職人という珍しさを活かし、より多くの人に八女石灯籠の魅力を伝えていきます。工房での制作や個展の開催に加え、SNSやイベントを通じて、自身の八女石灯籠との特別な絆を広く知ってもらえるよう努めていきます。退任後の目標は、サンちゃん石工房を拠点に「YAME ISHIDOUROU」をブランド化し世界に広めることを目指します。八女石灯籠の制作・展示・販売を通じて、地域の伝統工芸を守り、次世代の職人育成や地域活性化にも貢献したいです。

活動内容

●八女石灯籠のPR、製作と継承活動



• 令和7年9月には八女伝統工芸館にて個展「サンちゃんSTONE EXPO」を開催しました。
• 石工房の見学やセミナーを実施し、石灯籠の制作過程や独自性を直接伝える場を提供。訪問者との交流を深めています。
• 小中学校でのワークショップを通じて、八女石灯籠の魅力を伝え、未来の職人を育成する活動も展開中です。

●八女茶（やべ茶）のPRと学び



八女茶の中でも、奥八女で生産される「やべ茶」。標高の高い矢部村で育まれるお茶の特別な魅力を広めたいという思いと、「担い手の減少」という課題もあり、この大切な地域資源が途切れてしまわないよう、原嶋製茶園で研修をしています。矢部茶の魅力を学びながら未来へ、そして世界へ届けたいです。

●地域イベントのサポート



『奥八女の南ドイツ』をテーマに、矢部杉でドイツ屋台を制作し、市内のイベントに参加しています。令和7年は矢部村クリスマスマーケットの開催を目標に掲げ、冬の名物イベントにしたいと考えています。さらに、矢部清流学園の行事や地域講座にも携わって一家で体験を楽しみながら、季節ごとのイベントをサポートしています。

連絡先

【サンドロモリッツ石灯籠HP】
https://www.tourotaku.de
【メデイア紹介記事】
NHKニュース
西日本新聞社① 西日本新聞社② 読売新聞社
FUKUOKA IS　OPEN

@YAME.STONELANTERN